

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年6月11日（金） 14：30～16：00

2 場 所 県立光陵高等学校 会議室

3 出席者 学校運営協議会委員 9名
(県立光陵高等学校教職員9名)

4 議 事 今年度の学校運営について
各部会の協議
「光陵高校の魅力発信について」
学校評価部会
教育活動支援部会

5 協議内容

(1) 今年度の学校運営について
資料のとおり説明、質問、意見はなし。

(2) 各部会の協議
学校評価部会

- ・子供たちは塾や学校のアドバイスで高校を決めている。リアルタイムにSNSで発信することが大事。(委員)
- ・教員を目指す学校が特徴だと思うのでそこを推していくといい。(委員)
- ・普通の日常を知りたがっているのではないか。生徒会では動画を作成して流す予定になっている。(職員)
- ・きれいな校舎を載せていただきたい。(委員)
- ・今年度の学校説明会では生徒がほとんど発言する予定になっている。(職員)
- ・子供は自分にとって何が楽しいか気になり、親は進学実績を知りたい。どちらもバランスよく紹介できると良い。(職員)

教育活動支援部会

- ・今年の学校案内「われら光陵」は堅い文章から写真を増やした。例年よりも見やすくなっている。(職員)
- ・県、全国大会に出場している部活のアピールをしてはどうか。(委員)
- ・教職・教職基礎演習をもっとアピールしたほうが良いと思う。(委員)
- ・今年から公式のInstagramとXをやる予定です。また、全公立展等でQRコードを掲示し、部活の様子が見れるようになる。(職員)
- ・中学生のニーズを把握する必要がある。(職員)
- ・学校説明会に来た方だけが知る情報もあるとよいのではないかと。(職員)

※次回は10～11月頃に実施予定

令和6年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年11月29日（金） 13:00～14:30

2 場 所 県立光陵高等学校 会議室

3 出席者 学校運営協議会委員 8名
(県立光陵高等学校教職員 9名)
(県立光陵高等学校生徒 6名)

4 議 事 各部会の協議
「学校への要望」「光陵高校に期待すること」
学校評価部会
教育活動支援部会
学校評価報告書の中間評価について

5 協議内容

(1) 各部会の協議

学校評価部会

- ・文理選択が3年生までないのは、遅いのではないか。(生徒)
- ・進路のための文理選択ではなく、高い教養と豊かな人格を育てるとというのが光陵高校のカリキュラムである。(委員)
- ・(光陵卒業生の委員) 高校時代に文理の両方を学べたことが、今の仕事に役立っている。企業では理数系的な要素を抜きにしては仕事ができない。(委員)
- ・今の光陵生は、70歳まで働くことになる。大学受験のことばかりではなく、もっと長いスパンで考えることが必要なので、光陵の方針に賛成である。(委員)
- ・軽音楽部(LMC)の活動場所が限られていて困っている。ほかの部活と同様に譲り合って使いたい。(生徒)
- ・スクールバスが導入されると通学時間の短縮と負担も少なくなり嬉しい。(生徒)

教育活動支援部会

- ・学校までバスがきてくれると嬉しい。(生徒)
- ・制服の移行期間を今よりも1か月くらい長く設けてほしい。今年は、暑い日が続き10月の冬服はとても暑かった。(生徒)
- ・制服の件は生徒会と一緒に考えていきたい。(委員)
- ・今年の夏は、教室のエアコンの故障が相次いだ。新しいものに交換してもらえないか。(生徒)
- ・エアコンの修理は、交換部品がないこともある。温度を下げすぎないように使用してほしい。(委員)

- ・改善してほしいことがあったら、生徒が声を出すことが大事。良い方向に問題を解決していけるといい。（委員）
- ・光陵高校では、教員相互で授業を見に行く習慣があることが素晴らしい。（委員）
- ・昨年度はじまったサポートドックは、生徒自身のメッセージを伝えやすいシステムであるようだ。これまで誰にも話せなかった悩みを打ち明けることができ、問題解決につながっていくなど、今後の実績が気になる。（委員）

(2) 学校評価報告書の中間評価について

配付した資料のとおり。

質問等は、特になし。

(3) 全体を通して

- ・境木中学校では、放課後に地域のボランティアの方が勉強を教えるという取り組みを行っている。難しい問題なども多く、光陵高校の生徒さんにもボランティアとして参加してもらえるとありがたい。（委員）
- ・毎年3月に実施するキャリアガイダンスは、参加する卒業生も楽しみにしている行事である。後輩たちに、自分の経験のなかで培った知識や経験を伝え、生徒に良い刺激を与え、母校をもっとよくしていきたい。（委員）
- ・文化祭のときに、大きな荷物を運んでいたら、生徒が「持ちましようか」と声をかけてくれた。生徒の優しさに感動した。（委員）
- ・中高大連携をさらに意欲的に取り組んでいきたい。（委員）